



茶せんを使って上手にお茶をたてました

茶道の文化を学ぶ ひまわりこども園

ひまわりこども園では5月20日、同園で茶道教室を開きました。熊倉宗久社中の皆さんが講師を務め、園児に茶道の基本を丁寧に説明しました。茶道教室にはひまわり組の園児が参加。園児は、あいさつやお辞儀の仕方などの礼儀作法を教わった後、茶せんを使って上手にお茶をたて、お友達をもてなしました。お茶とお菓子を味わった園児たちは「お茶は苦いけど美味しかったです」と感想を話しました。



お辞儀の作法を学ぶ園児たち



お友達がたてたお茶を美味しく味わいました



1列に並んで等間隔に苗を植える児童

昔ながらの田植えを体験 猪苗代第二小学校

猪苗代第二小の5年生42人は5月27日、入江地区にある佐藤智彰さんの田んぼで、田植え体験をしました。田んぼに苗を同じ間隔で植えられるように、がじ棒(水田に線を引くための農具)を使って線を引き、そこに子どもたちは丁寧にヒトメボレの苗を植えました。参加した古渡結翔さんは「大変だったけどやってみて楽しかったです。泥はひんやりしていて、気持ち良かったです」と話しました。

税の理解を深める 猪苗代小学校

小学6年生を対象とした租税教室は5月29日、猪苗代小で開かれました。授業では、町の職員が税金の種類や小学校入学から中学校卒業までに使われる税金の金額などを映像資料で説明。児童は、「税金のある世界とない世界」を描いたアニメや税に関するクイズを通じて税の大切さや使い道などについて楽しく学びました。租税教室の最後には、レプリカの1億円と100万円の束に触れて、興奮していました。



レプリカの1億円に興奮する児童

會津豊玉の阿部さん
全国菓子大博覧会で最高賞を受賞



名誉総裁賞を受賞した阿部さんと作品「未来光道」

「和菓子処 會津豊玉」の阿部大三さんは、5月30日から6月15日まで北海道旭川市で開催されている第28回全国菓子大博覧会に工芸菓子を出品。6回目の挑戦で、大型工芸菓子部門最高賞の名誉総裁賞を初受賞しました。

「未来光道」と名付けられた作品は、もち米と粉糖、白あんなどから作られ、初めて空に飛び立とうとする若い白タカとポタンなどを表現。仕事が終わってからなどの時間を使い約半年かけて、高さ約1.3メートルの大作を完成させました。作品には「若いタカが初めて空を飛ぶ時のように、勇気を持って羽ばたけば、きつと光る道、未来がある。私には子どもが2人いるので、子どもたちには勇気を持って進んで行ってほしい」という阿部さんの願いが込められています。博覧会は4年に1度の開催。前回はコロナウィルス感染症の影響で中止になり、8年ぶりに開かれました。作品は、博覧会終了後、6月下旬ごろから店内に展示されます。

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊
戸倉 千秋さん

主な活動内容：農産物の6次産業化とブランド化



こんにちは、農林課の戸倉です。協力隊の残りの任期も折り返し地点を過ぎました。今年度も町のみなさんと一緒に6次化・ブランド化を一緒に推進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

令和7年1月に猪苗代町の新しいブランド「いないな！いなわしろ」を立ち上げました。猪苗代町の農産物やその加工品を広く発信するためのブランドです。3月に審査会が開かれ、魅力ある農産物・産品がたくさん認定されました。今後も猪苗代「いないな！いなわしろ」を広めていきたいと考えていますので、ブランドの申請やご意見・ご要望なんでもお知らせください。

また、猪苗代町の農産物ブランド化に関するインスタグラムアカウント「いな食一猪苗代町農林水産物発信ユニット」を始めました。「猪苗代町の農産物がどうやって生産されているのか」、「どうやって食べたら美味しいのか」など皆さんの得る情報を深掘りして発信します。ぜひフォローしてください。

